

# 校長室つれづれ言葉

校内マラソン大会によせて

マラソン、長距離走と聞くと嫌になる人もいるでしょう。  
長い距離、しんどい。遅いし、嫌だ。

なかなか難しいですが、  
自分のペースを大事にして取り組むことを大切にしてください。  
自分が掲げた目標や記録にチャレンジしていくのもよし。  
周りの景色を見たり眺めたり、自然が奏でる音を楽しみながら走るのもよし。  
走りながら歩きながら、自分と対話するのもよし。

.....  
先日のびわ湖高島栗マラソンでは、  
自分の体調に合わせて、お一人お一人が汗しながらゴールをめざされていました。  
声援に手を振って走る人や、「がんばります」と声を出して走る人、  
前を向いて鋭い目で走る人、  
ふらふらになりながらも一步一步確実に走っている人、  
人それぞれの走り方で、どの方も輝いておられました。

大会を支えるスタッフの方々も使命感をもって懸命に取り組まれました。  
スタッフとして参加した3年生も、自分の役割を誠実に果たす姿に感動しました。  
よく気が付き、自ら行動する姿に、素直に心を打たれました。

.....  
マラソンと人生は似ているところがあると思います。  
自分のペースで自分の目標に向かって、一步一步踏み出すことで新たな出会いがあります。  
自分の殻を破ることにつながると思います。

ねばり強く取り組んでいくと、充実感を味わうことができるでしょう。  
振り返ると成長した自分に出あうでしょう。

長い距離を走ると、途中で楽になるときがあります。  
一生懸命に取り組んでいるご褒美かもしれません。

もちろん辛いこともあるでしょう。  
今までのペースを落としたり休憩したりすると、新たな発見や出会いもあります。  
全力疾走していたら気付かない道端の一輪の花に心を癒されるでしょう。

また、応援する人やスタッフも欠かせません。  
走者を支え勇気づける貴重な存在です。  
この方々にどれだけ支えられ助けられ、人は歩んでいるのでしょうか。  
支えるがないと、人は歩みだせないと思います。

さて、本日のマラソン大会。  
どんな自分に出あうのでしょうか。  
人それぞれの歩みを大事にして。



イラスト  
文化探求部